



うさ本ファミリー

# 楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

第81号

発行日

2014年2月19日  
(毎月19日刊行)

## 司書のオススメ本

～伝統行事を楽しむ本～

<企画展示コーナーから選んでみました>

今年の節分には、巻きずし作りに挑戦しました。ほぼ初挑戦のため、祖母に教わりながら、作りました。卵焼きや穴子等の具をひとつひとつ準備して、ご飯を炊き、酢飯を作って・・・と完成までに約2時間半かかりましたが、なぜか具が一方に片寄ってしまい、うまく巻けず、がっくり。同じように作っていた(ように私には見える)祖母の具は、ちゃんと真ん中になっていて、何故??

次回の雛祭りには、ちゃんとしたバラ寿司を作って、リベンジしたいと思います!

それにしても、巻きずしの調理には2時間半もかかったのに、食べるのは、20分足らずでした。これは、最高に贅沢な食事ですね。(T)

新しい本が  
入りました。

( )内の数字は  
棚の番号です

『親バカ本』  
五月女ケイ子, 細川徹/著  
マガジンハウス/刊  
2014. 1  
(支援1-5)

『中古住宅リノベーションでかなえる  
ナチュラルスタイル  
の家』  
主婦と生活社/刊  
2014. 1  
(支援2-1)

『0歳から6歳までの  
東大に受かる子ども  
の育て方』  
河村京子/著  
KADOKAWA/刊  
2013. 12  
(支援3-2)

『5回で折れる!  
折り紙おもちゃ』  
築地制作所/編・著  
PHP研究所/刊  
2014. 1  
(支援4-1)

### <オススメbook>

『はじめての飾り巻きずしとデコちらし』  
後藤幸子 / 著, 川澄健 / 監修  
日本文芸社/刊

『Gomaのてづくり歳時記』  
Goma / 著  
講談社/刊

『おうちで楽しむにほんのもてなし』  
広田千悦子 / 著  
技術評論社/刊



### 企画展示

「知れば知るほどおもしろい! ~家族で楽しむ伝統行事の本・えほん~」展  
子育て支援コーナーにて、平成26年3月2日(日)まで開催中!

## 読み聞かせの楽しみ

なかよしの野ねずみが登場する絵本『ぐりとぐら』は、昨年、誕生50周年をむかえたそうです。シリーズ第一作『ぐりとぐら』は、小さな双子の野ねずみが、体より大きな卵でふんわり大きなカステラを作って森の仲間と分け合って食べるお話です。

児童文学作家の中川李枝子さんは、この物語を書いた当時、保育園の保育さんをしていて、園児を楽しませるため、大きな卵で子どもたちをびっくりさせようと主人公を小さな野ねずみにしたそうです。

今は高校生になった私の子どもが幼稚園の頃、この『ぐりとぐら』の読み聞かせをした記憶があります。赤と青のつなぎを着た2匹の野ねずみが描かれた表紙。ページをパラパラめくって試し読み。これなら楽しんでもらえるかなと選びました。

「ぼくらの なまえは ぐりと ぐら このよで いちばん すきなのは おりょうりすること たべること ぐり ぐら ぐり ぐら」

はずむような言い回しに子どもたちは大喜び。節をつけて「ぐり ぐら ぐり ぐら」とみんなで声をあわせて言ってみたり、むしゃむしゃとカステラを食べるまねをしたり、寝る前の読み聞かせは、いつのまにか目覚ましの読み聞かせになってしまいました。

他にもシリーズ作品に、『ぐりとぐらのかいすいよく』、『ぐりとぐらのえんそく』、『ぐりとぐらとくるりくら』などがあり、どの作品にも優しい登場人物がいて私たち親子は心はずませました。

『ぐりとぐら』は、英語や中国語などさまざまな言葉に訳され、海を渡って外国でも出版されているそうです。わが家のような光景がそれぞれの国でも見られるのかもしれない。(F)



なかがわりえこと おおむらゆりこ / 作  
福音館書店

## 椅子の修繕をしています。



1月末から3月にかけて、図書館内にある椅子やソファの修繕を行っています。傷んだ椅子をきれいにし、皆さんに気持ち良く利用していただくための作業です。

利用できる椅子等が一時的に少なくなることがあり、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記 子育て支援コーナーのフェルトのおもちゃが新しくなりました。保護者の方が本を選んでいる間、お子様が遊べるように、と置いているものです。どうぞ、ご利用ください。(製作は、初代子育て支援コーナー担当者です。感謝！)